

(発行)

*働きやすい職場をめざす
 (連絡先) ルネサス武蔵の会
 *東村山市恩多町3-11-18 谷口利男
 *電話・FAX ; 042-394-0937
 *メール; musashinet@jcom.home.ne.jp
 *要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

ルネサスの3月期決算 第4四半期は営業黒字

ルネサスエレクトロニクスは、5月9日(木) 3月期決算を発表しました。

その内容は、売上高は前の期に比べ11%減の7858億円、営業損益は232億円(前の期は567億円の赤字)の赤字、最終損益は1676億円(前の期は626億円の赤字)の赤字となっています。1676億円の赤字額には、7446人の早期退職での特別損失1339億円を含んでいます。

第4四半期の2013年1~3月期は、コスト削減効果で80億円の営業黒字を確保できたとしています。

さらに、自動車のエンジン制御などに使うマイコンは堅調だった半面、デジタル家電や携帯電話向けのシステムLSI(大規模集積回路)などが不振だったとしています。

労使交渉では「6月の一時金は1ヶ月分」を実現させるため、あらゆる努力をしましたが、出資する産業革新機構との関係もあり「ゼロ回答」で終結せざるを得ませんでした。

一時金の不支給!

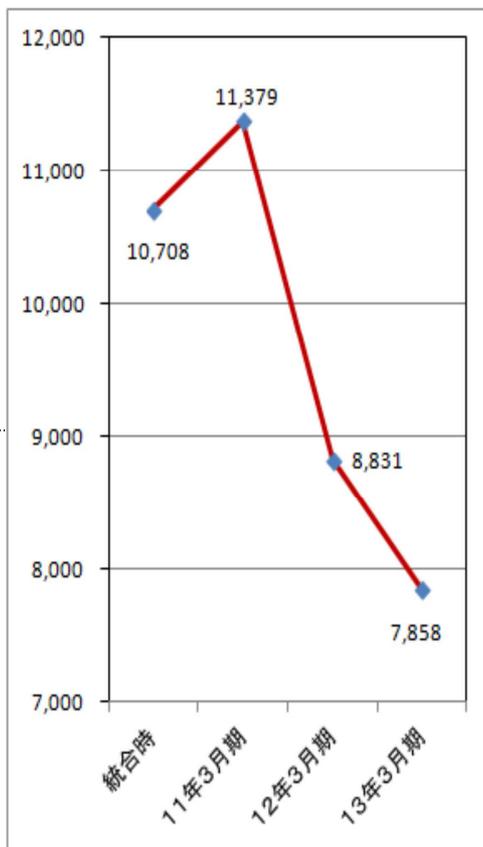
昨年度から続けられている賃金カットはこの4月から14年3月まで引き続き7.5%減額が実施され、その影響は一人当たり年間30万円近くもの減収となっています。

特別支給金の支給を

結論では、上期売上げ達成状況を踏まえ7月下旬に「特別支給金」について労使協議する。12月分については、上期決算が見通せる8月下旬を目処に協議する、としています。

労使は「特別支給金」の実現に向けての努力に期待をする声も強まっています。何よりも、毎月の賃金カットが継続されている中で、一時金に代わる支給の実現が必要です。

特別支給金で生活苦しさを少しでも改善を



売上高減少に歯止めを

ルネサスエレクトロニクスの会社統合時からの売上高は(右グラフ)の様に急激な減少傾向で推移しています。2011年度から2013年度は実績値となっています。(単位はいずれも億円)

社員に安心安全を

労使が工夫と努力をして、ルネサスで働く社員が将来に渡って「安心・安全」な会社に向けての経営再建をめざしてもらいたいのです。

製造業の13春闘結果

「日経」は、5月1日の紙面で2013年春闘の賃金動向調査結果を報道しています。

製造業の調査結果の平均は次の様になっていました。

賃金 ; 178社5743円(1.85%)
 年間一時金 ; 98社165万6558円

職場たより

社員数が半減した

(日立超し)では昨年度末に実施された事業構造改革により500人を超える社員が退職しました。また、約100人が出向・転籍となりました。この結果、社員数は1年前から半減し約600人となりました。

これまで、日立製作所が3分の2、ルネサスが3分の1の株式を保有していましたが、今回の構造改革により、日立製作所が100%の株式を保有することとなりました。

驚きの発表から1年

昨年の5月連休明けに、赤尾前社長から社内サイトを通じて「驚きの発表」があったことを思い出します。あれから1年が経ちました。大リストラの連続で、本当に重苦しくて長い1年だったと思います。ここ玉川は、ルネサスで最も大きな事業所とっていたのですが、約4000人居た社員が、いつの間にか2500人を切るところまで減っていました。

また、そもそもがNECからの間借りである故に、いずれは武蔵に統合されるのではないかと、そうになったら通勤は出来るのだろうか、更なる人員削減がNEC側で実行されるのではないかと不安も聞かれます。会社の真の再生に向けて、もう一度きちんとした成長戦略を早く示して欲しいというのが願いです。(投稿)

早期退職では「あなたの仕事は無い」「応募が目標に達しなければ解雇もあり得る」などの執拗な退職勧奨が行われました。また、退職者の中には派遣会社に移った上で従来と同じ業務を行う人も多くいるとのこと。残された社員には、この間の業績不振を挽回するために過大なノルマが課せられ、職場環境もさらに悪化しています。(A)

特別支給金は必要

13春闘の結論で6月分の一時金は不支給(ゼロ回答)で、上期売上げ達成状況を踏まえ7月下旬に「特別支給金」について協議すると確認されました。経

営の厳しさは実感するものの、毎月の賃金カットの継続で大変であり、一時金支給は生活防衛の最後の砦です。支給されることを期待しています。(B)

株価情報について

ルネサスの株価の推移は220円台を底にして多少回復しているものの、低水準での推移と なっています。(C)



(C) Daiwa Institute of Research Business Innovation Ltd.

絵手紙でご挨拶



休憩室

◆「富士山」
世界文化遺産登録に守って行かなければ

◆「憲法96条」
憲法問題を考える機会改善を容易にする為

◆「やんなっちゃた」
給料のカットが続くボーナスが出ない!

◆「原発売込み行脚」
事故で安全技術向上首相強弁にとんでもない

編集後記

経営再建に向けての道筋が明確でなく不安な日々が続いているとの声が寄せられています。産業革新機構からの「第3者割当増資」での入金はいつ行われるのか?その資金を活用しての成長戦略はどうなるのか?労働条件の切り下げがいつ解除されるのか?などの課題が山積しており、働き甲斐がある職場の実現を願っている方々に経営側は応えるべきです。(T)